

令和4年6月13日

保護者様

狭山市立入間川東小学校
校長 井上 健

通知表の「所見」の見直しについて

日頃より保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解、御協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、本校では、教員が限られた勤務時間の中で、児童と向き合う時間を最大限に確保するため、時間外の長時間勤務の縮小を目指した働き方改革を推進しております。

つきましては、その一環として、今年度より、下記のとおり通知表の「所見」について見直しを図ります。

本校では、これまで各学期の終わりに通知表を作成し、児童の学習の成績や生活の記録等、学校での様子を通知表の「所見」で文章にしてお伝えしておりました。「所見」以外にも学校の様子をお伝えする機会として、懇談会、個人面談、連絡帳でのやり取り、電話連絡等の様々な機会を通して行っております。

「所見」の見直しは、本校の教員の働き方改革を推進し、教員の授業力を磨くための研修や児童に向き合う時間を最大限確保し、効果的な教育活動の充実を目指すことを第一の目的としています。

保護者の皆さまの御理解、御協力をお願い申し上げます。

記

1 「総合所見」について

- ・学校生活全般（学習面・生活面）の「総合所見」は、1、3学期のみの記入とし、2学期は廃止します。2学期は、11月末に「個人面談」があるため、学校生活の様子について、担任より直接お伝えします。

2 そのほかの「所見」について

- ・英語活動（3・4年）、特別の教科 道徳（全学年）、総合的な学習の時間（3～6年）の「所見」は、3学期のみの記入とし、1・2学期は廃止します。活動の顕著なものは適宜、「総合所見」内のコメントや「面談」等でお伝えします。

3 そのほか

- ・「学習の様子」や「学校生活の様子」については、引き続き学期ごとに3段階で評価します。